

電気通信大学 平成17年度シラバス

授業科目名	特別活動		
英文授業科目名	Extra-curricular Activities		
開講年度	2005年度	開講年次	1～4年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間・夜間主コース
授業の方法		単位数	0
科目区分	教職科目-教育課程及び指導法に関する科目-		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	荒井 正賢		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
<p>(a) 主題： 本科目は、教員免許取得に必要な教職に関する科目の内、必須の科目である。教師に必要とされる特別活動の指導の概要を、理論と実践を基に理解し、「人間としての在り方生き方の自覚」「豊かな生活経験や人間関係を培う」「特色ある学校文化の創造を生み出す」等、特別活動の意義や目標についての基礎知識を学び理解する。</p> <p>(b) 達成目標： 教育課程を構成する一領域であることを理解し、特別活動の内容と指導法を身につける。全ての教員が指導を行うことが必須で、学級経営・学校経営の基礎であることを理解し、教育課題の発見や解決に迫る態度能力を身につける。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】

【教科書等】
参考書：学習指導要領（特別活動編）、学習指導要領解説（特別活動編） 現代の特別活動-理論と実践-（酒井書店・育英堂）

【授業内容とその進め方】

原則として学習指導要領（特別活動）に準拠し、その内容・取り扱い上の留意事項・指導方法について講義を行います。実践科目なので、できるだけ学校現場の実践事例を基に指導計画作成上の留意点や指導方法の開発等、課題解決に努め、随時演習や意見交換を取り入れる。主な内容は、以下のとおりです。

- ・オリエンテーション、授業の進め方と受講心得
- ・特別活動の本質と人間形成-学校知と日常（生活）知-
- ・教育課程の構造と特別活動の変遷
- ・特別活動と「総合的な学習の時間」・ホリスティック教育
- ・特別活動と生徒指導・進路指導
- ・特別活動の指導と教師のリーダーシップ
- ・特別活動と評価
- ・期末試験

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法：

期末試験および演習・レポートの結果、出席状況等により総合評価する。

(b) 評価基準：

100点		秀	4	授業内容の100%習得
90点		優	3	
80点		良	2	
70点		可	1	
60点				最低達成基準

以下の到達レベルをもって最低達成基準とする。

- (1) 欠席率三分の一以下である。
- (2) 特別活動の教育意義を説明することができる。
- (3) 特別活動の内容を理解しており、その指導計画を作成することができる。

【オフィスアワー：授業相談】

始業前か授業終了後等適宜相談に応じる。事前にアポイントが欲しい。

【学生へのメッセージ】

教育は「人格の完成」を目指す営み、己の人間性を豊かにすべく学んで欲しい。
「成すことによって学ぶ」特別活動、毎時の授業実践を大切に。

電気通信大学 平成17年度シラバス

【その他】